

気づき、考え、実行する さし人つつしん

唐津市立佐志小学校

学校だよりNO.5

令和3年5月14日

文責：校長 松野克己

せんせいとなかよし

5月6日と7日に1年生が「いろいろな先生となかよくなる」という目的で校長室や職員室、保健室をグループで訪問しました。一人ずつ自己紹介をした後に、「好きな食べ物は何で

すか。」といったインタビューを受けました。それぞれが自分の名前を書いたカードを持ってきたので、私も準備していた名刺を渡しました。入学して1ヶ月が過ぎ、ずいぶん学校の生活に慣れてきたようです。



トロフィーを真剣に見つめる子どもたち



1年生用の名刺

ちなみに1年生の子どもたちが校長室で宝物を発見したかのように目を輝かせて見ていたのは、戸棚に飾っているこれまでのトロフィー類です。「これ、オリンピックでもらったと？」という質問には、思わず吹き出してしまいました。

放課後子ども教室開講式



5月8日(土)、佐志公民館主催の「放課後子ども教室開講式」が行われました。この開講式の前に、子ども教室の参加者や保護者、佐志中学生徒会、地域の方で、青少協のプランターに花を植えました。ペチュニア・日々草・ポーチュラカ・マリーゴールドといった花の苗を子どもたちは楽しそうに植えていました。保冷剤の中身を土に混ぜると水持ちがいいということは、この時に初めて知りました。プランターはボラテック西日本工場前の通学路や佐志公民館外に置いてあり、通学する児童生徒や佐志公民館利用者の目を和ませてくれています。



その後に、公民館駐車場で開講式を行いました。吉田公民館長さんからは「挨拶を元気にすること」といった参加する心構えのお話がありました。こういうことが社学連携(地域社会と学校がつながって子どもの健全育成を目指す)につながるのではないかと思います。コロナの影響で思うような活動ができないことも多々あるでしょうが、学校外での体験を通し、社会性を高めてほしいものです。



たてわり班びらき



5月12日(水)に縦割り班びらきをしました。縦割り班は、学年をまたいだ6年生から1年生による小グループで、異学年の交流や上級生のリーダーシップを高めることを目的としています。この日は本当は3つの集団に分かれて近隣の公園に遠足をして、そこで交流する予定でしたが、遠足中止に何の迷いも起きない雨模様でした。【私、自称「晴れ男」ですが、遠足だけは前任校も含め、これで4連敗です・・・(-_-;)】

各教室で班ごとに自己紹介やゲーム、校内ウォークラリーを行いました。校内ウォークラリーはとっても楽しかったようで、時間切れになったときに名残惜しそうにしている子もいましたし、その後の休み時間に自分たちで続ける班もありました。



少子化の影響もあり、日常の中で異学年と関わる機会が減っていると言われていきます。先に紹介した放課後子ども教室やこどもクラブ、社会体育といった場で上級生と下級生が関わる中で、下級生への思いやりや上級生へのあこがれの念が育つといいですね。



① プール指導の実施について

昨年度は唐津市の全ての小中学校でのプール指導が中止となりました。今年度は学校判断となり、佐志小は実施することにしました。当然これまで通りではなく、コロナ感染防止対策をしっかりと行った上で実施します。

【感染防止対策】

- ・プールの更衣室は狭いので使用しません。校舎内の教室や空き教室で更衣を行います。
- ・学年単位ではなく学級単位で授業を行います。安全のため級外職員も監視を行います。(そのため、プールの使用は各学級5回程度となります。)
- ・プール内でも、ある程度広がって活動させます。

プールでの授業は6月7日(月)の週からの開始を予定しています。ただ、コロナの感染状況によっては、今年度の中止もあり得ることをご承諾ください。

② 名札の着用について

これまで本校では「外での名札着用は保護者判断」としておりました。しかし、隠し撮りされた児童の写真がSNS上で拡散し、名札着用で名前が分かってしまうということが問題になっています。そこで唐津市全体として「外での名札は付けさせない」ということになりました。今後、学校外での名札着用は必要ありません。



③ 唐津市教育の日について

約1ヶ月後になりますが、6月13日(日)は唐津市教育の日となっています。本校は密を避けるため「佐志・校区外」「唐房」に分けて授業参観をします。また、その後も地区を分けて保護者引き渡し訓練を行います。詳しくは本日配布した別プリントをご覧ください。決まり文句となりましたが、これもコロナ感染状況によって変更もあり得ます。